

登別市市民自治推進委員会
第11回全市観光に関する企画委員会 議事概要

1、開催日時：平成23年10月20日（木）18：30～20：00

2、開催場所：市民活動センターのぼりん 2F市民活動室D

3、出席者：川田、山田、中原、河村、半田、瀧川

4、提示資料

(1) 各担当者から収集した「全市観光」に関する分野別の観光項目一覧(川田)

(2) 歴史に関する観光テーマ 「登別市の工業の草分け-たたら製鉄-」と
「登別先人ふたりから鉱山とヒメマス養殖を垣間見る」(中原)

(3) 第11回全市観光に関するメモ(瀧川)

5、議事内容

(1) 観光テーマ(収集情報)の整理について

今後の進め方について、前回会議にて見出した方向性を再確認。

- ・ 全市観光に関する全ての情報を集め整理する。
- ・ ご当地検定の実施作業については、全市観光の推進項目として当面保留とする。
- ・ 私たちが提唱する「全市観光のあり方(全貌)について」取りまとめる。

以上の方向性をふまえて、収集した情報「観光テーマ」の整理方法について検討。

*参考資料は分野別観光項目一覧

- ・ 中原委員からの提供資料「登別市の工業の草分け」と「登別先人ふたりから鉱山とヒメマス養殖を垣間見る」についての説明。

先人の苦労話は歴史上、大切な情報であり登別の歴史編として活かして行きたい。

- ・ 全市観光に関する目的は2つある。
一つは、温泉のみならず、市内随所にある資源や財産を活かした観光のあり方。
もう一つは、基幹産業である観光に関して、市民のホスピタリー精神(おもてなしの心)を広げ、まち全体の機運を盛り上げる。市民ひとり一人がボランティアガイドであり営業マンとなる理想。
- ・ 郷土資料館開館30周年記念特別展「武士たちの登別移住顛末」に展示されている市指定文化財や古文書は、登別開拓の歴史を証明する大変貴重な財産であり、観光の価値が高い資源である。
- ・ 歴史を整理テーマにすると、それぞれの観光テーマ(情報)に関連性と深み(時間軸)ができて、まちの文化を知る観光要素になる。
- ・ 例えば鉱山の歴史として、中原さんから提供のあった「幌別鉱山産業の栄枯盛衰と公害問題」から再生し、現在ある「登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山」の100年の里山づくり構想と取組み等。
- ・ 瀧川事業見直しリーダーから提供資料についての説明。
分野別に整理し、市民・観光客が知り得たい分野を考えて整理する。例として、(3)登別の風土・生活・文化・スポーツを説明。
説明のストーリーを考えながら整理すると、必然的に保留するテーマが決定するので、一意的にテーマを却下判断する必要は無い。必要時に追加可能。

今回の資料をもとに、各委員が観光を念頭において想定するテーマを分類していただき、次回会議にて協議し検討資料を作成する。

例えば・ 栄枯盛衰・鉱山歴史探訪をテーマに、文化財観覧(資料館)～史跡めぐり(鉱山町)～自然散策 と自然体験(ふおれすと鉱山)
・ 自然と共生するアイヌ文化をテーマに、ユウカラの里(クマ牧場)～知里幸恵・銀のしづく記念館～アイヌ語所縁の地と史跡めぐり(お墓、フンベ山等など)

6、次回会議について

- ・ 日程：平成23年11月22日（火）18時30分～
- ・ 場所：市民活動センターのぼりん 2F 市民活動室C
- ・ 内容：全市観光の全貌(あり方)について